

近江高島市・白鬚神社・乙女ヶ池を訪ねて

6 月のフォトウォークは琵琶湖西岸のパワースポットのの一つである白鬚神社を参拝し、鵜川四十八体石仏群を通り、乙女ヶ池・太鼓橋から大溝城跡を巡り、JR 近江高島駅周辺のお土産・グルメ・体験施設のある「高島びれっじ」エリアを散策してみましょう、皆さんの参加をお待ちしております。

(記)

1. 実施日 2019 年（令和元年）6 月 4 日（火） 小雨決行
* 当日午前 7 時の天気予報（滋賀県）で暴風・大雨警報が出ている場合は中止、また、湖西線が運休の場合も中止とします。不明な点は各クラス幹事又は会長に。
2. 申込締切り 5 月 28 日（参加人員確認の為）
3. 集合場所・時間 近江高島駅 10 時 30 分（10:24 着電車利用の事）
4. 歩行距離 ほぼ平坦地を約 8 km。（琵琶湖が見える所へ少し上る）
5. 行程 近江高島駅→古代の西近江路→鵜川四十八体石仏群→白鬚神社→鵜川四十八体石仏群→打下・琵琶湖岸→乙女ヶ池・太鼓橋→大溝城跡→「高島びれっじ」で解散・自由散策→近江高島駅
* 電車は近江高島駅発 毎時 20 分頃（新快速）、38 分（普）
* 雨天の場合 一部コースを変更します。
6. 持ち物 弁当及び菓子パン等（昼食時間の関係上途中で簡単に食べる物）、飲み物、帽子、雨具、筆記用具、保険証等の身分証明書等。
* 昼食場所は乙女ヶ池周辺、雨天時「高島びれっじ」の食堂等
7. トイレ トイレは、駅、白鬚神社、「高島びれっじ」エリアのみ
8. 見どころ

白鬚神社：猿田彦命を祭神とする古社で、縁起によれば垂仁天皇 25 年に倭姫命により社殿が造営され、奈良時代には天皇家から尊敬をうけ「比良明神」の号を賜ったとされています。現在の社殿は慶長 8 年（1603）豊臣秀吉の遺命により、息子・秀頼が造営したもので、国の重要文化財に指定されている。

鵜川四十八体石仏群：花崗岩の阿弥陀如来坐像群で、元々は 48 体あったと言われていますが、13 体は江戸時代に移されて大津市坂本の慈眼堂、2 体は盗難に遭い行方知れずになっており、現在は 33 体が残っています。天文 22 年（1553）、対岸の観音寺城主・六角（佐々木）義賢が亡き母の菩提を弔うために琵琶湖の西に建てたという説が有力でしたが、近年の研究ではもっと古いのではないかという説が出ています。

以上